

南部ブロック  
地域の未来についての懇談会  
(通算第127回)



開催日	平成30年2月20日(火)
開催時間	午後6時30分～午後8時
会場	南部公民館明治分館
参加者	29名

意見・質問等	市側の発言
<p>1. 南部ブロックは、校区によって都市化されていくところと山間部とがあるので、考慮いただきたいことについて</p>	<p>1. 確かに地区ごとに大分状況が違うということは、よく理解している。この会を6地区それぞれで開催させていただくと一番いいが、今回はブロック単位でということになった。地区ごとの実情の違いによる意見の違いがあれば、それも含めて受けとめて、これからの市政に生かしていきたい。</p>
<p>2. 新駅周辺の道路網整備に関し、東西の道路は京終停車場薬師寺線が本当に狭いことから、大安寺の南側を走る市道の整備が重要になることについて</p>	<p>2. 大安寺の南側を走る市道の整備については、地元からも非常に強い声をいただいている。史跡整備で買い上げた土地が多く、それを道路として使用することにハードルがあるが、市としてこの道路は整備するという方向性を持っているので、文化庁としっかり協議して、新しいまちづくりができるときに合わせて東西の道路ができるように努力していきたい。</p>
<p>3. 精華地区にあるごみ焼却灰の最終処分場は、昨年新たに拡張工事が完成して事業が進められているが、埋め立てた跡地に関する市の計画について</p>	<p>3. 第二工区が一応完成し、近々利用させていただくことになっている。一番最初の約束では農地に戻すということであったが、地元もこれから農業をされる方がいないとのことであり、跡地については土地活用委員会をつくり、地元の皆さんと市とで、これから話し合っていきたい。</p>
<p>4. 児童相談所の設置に関し、平成30年度はどのように進められるのかについて</p>	<p>4. 市は現在、児童相談所設置準備室を設けている。児童相談所ができると、最低でも30人ぐらいの職員が必要で、児童福祉司、臨床心理士等の専門性や、ポストによっては経験も必要と言われており、一気に集めることは難しいので、毎年何人かずつ採用している。この4月からは、10人ぐらいの職員に県の児童相談所で研修してもらうように考えている。どういう児童相談所を目指すか、しっかり練っていきたい。</p>

5. コミュニティ・スクールの運営委員をしているが、こういう先生が欲しいと要望しても満足いくような回答が得られないことについて

6. いろいろな説明会に出て説明を聞くが、地域自治協議会とは一体何なのかよくわからない。もう少しわかりやすく説明してほしいことについて

5. コミュニティ・スクールは、教育委員会規則に定める事項について、特に教職員についても地域が意見を述べることができるとされているが、先生個人のことについては教育委員会もお聞きすることはできない。そうではなく、先生の男女比が崩れているとか、年齢構成を配慮してほしいとか、地域としてこんな子どもを育てたいのでこういう先生を配置してほしいという要望については、お聞きしていくというシステムである。

6. 地域の各種団体には重複した活動もあると思われるので、皆さんで集まっていたいて、もう一度活動を見直しして簡素化し、役割分担を再検討していただく。南部ブロックでは、地域の活動をサポートする行政職員やいろいろな機能が比較的充実しているが、施設も連絡所もない地域もある。正規職員が動くとコストも高いので、これからは極力地域のことは地域の皆さんでやっていただく流れになる。地域の各種団体が1つの事務局をつくってプロパー職員を雇うことができること、地域のいろいろな機能も賄えるようになるのではないかと。そういうことも念頭に置いてこの地域自治協議会にチャレンジしていけたらと思う。